地域医療の充実のための遠隔医療補助事業(遠隔医療設備整備事業)

医師一医師間(D to D)

1.0億円(1.4億円)%()内は令和6年度当初予算額

※医療施設等設備整備費補助金のメニュー予算

1 事業の目的

この事業は、情報技術を応用した遠隔医療を実施することにより、医療の地域格差を解消し、医療の質及び信頼性を 確保することを目的とする。

2 事業の概要・スキーム

情報通信機器を活用して病理画像・X線画像等を遠隔地の医療機関に伝送し、専門医の診断・助言を得ることで、適切 な対応を可能とする。また、患者の通院負担軽減や医師の移動負担軽減、医療資源の柔軟な活用などの観点から、情 報通信機器を活用して、医師と患者間における遠隔地からの診療を行う。



遠隔手術指導

【概要】 手術中の術野映像、患者のバイタルデータ 等をリアルタイムに遠隔地の医師へ共有し、 指導を受けながら手術を行う。 【効果】 医療の地域間格差の解消、地域に勤務する 若手医師の教育支援等につながる。



専門医(指導医側

医師一患者間(D to P、D to P with N 等)

遠隔診療(オンライン診療)

医師一患者間において、情報通信機器を通し て、患者の診察及び診断を行い診断結果の伝 達や処方等の診療行為をリアルタイムで行う。

【効果】

医療に対するアクセシビリティを確保し、 よりよい医療を得られる機会を増やすことが できる。



3 実施主体等

- 〇実施主体:都道府県、市町村、厚生労働大臣の認める者 〇補助率:2分の1
- ○補助対象経費:遠隔医療の実施に必要なコンピュータ及び附属機器等の購入費
- ○補助基準額:遠隔病理診断(支援側 4.598千円、依頼側 14.198千円)、遠隔画像診断及び助言(支援側 16.390千円、依頼側 14.855千円)、 遠隔手術指導(5.580千円)、オンライン診療(※)装置(2.660千円) ※保険診療を目的に行う整備に限る。

(執刀医側)